

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	老人クラブ活動補助			事業番号	011-083
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
		有	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
3	事業開始年度			昭和 38 年度		点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			老人福祉法、堺市老人クラブ活動補助金交付要綱、堺市老人クラブ連合会補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、各区				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		堺市老人クラブ連合会 市内の単位老人クラブ（計約410クラブ）				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		老人クラブが行う事業に対し助成することにより、高齢者の幅広い社会活動を促進して、市内の高齢者の自立を支援し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		老人クラブ活動補助金 30～44人のクラブについては年額24,000円、45人～89人のクラブについては年額52,560円、以降会員数が50人増えるごとに45,000円を上乗せした金額を補助金として交付している。 老人クラブ連合会補助金 基本額 + (70円×会員数) + 特別事業分 + 活動推進員等の事務局の人件費の合計額を補助金として交付している。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		堺市老人クラブ連合会/市内の単位老人クラブ				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
老人クラブの会員数 (堺市老人クラブ連合会加入分)	人	目標値	36,000	33,000	31,000		31,000
		実績値	32,989	31,081			
		達成率	92%	94%			
当該指標を選定した理由	会員減少が例年続いており、さらなる減少を回避することを目標とする。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同程度を目標値として算出している。						

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
老人クラブの会員数 (堺市老人クラブ連合会未加入分)	人	目標値	11,000	10,000	9,750	
		実績値	10,150	9,745		
		達成率	92%	97%		
当該指標を選定した理由	会員減少が続いており、さらなる減少を回避することを目標とする。					
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同程度を目標値として算出している。					

令和3年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	老人クラブ活動補助	事業番号	011-083
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						(単位：千円)
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	61,341	58,958	61,097	57,496	59,509
	財 国支出金	24,110	23,582	23,743	22,427	23,200
	源 府支出金					
	内 市債					
	記 その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	37,231	35,376	37,354	35,069	36,309
14	人件費 (b)	3,790	3,750	4,030	4,030	4,030
15	年間経費(c)=(a)+(b)	65,131	62,708	65,127	61,526	63,539

事業費の内訳										(単位：千円)			
16	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		堺市老人クラブ連合会補助金	R2	決算	19,567	9,784			R2	決算			
			R3	予算	20,186	10,093			R3	予算			
		老人クラブ活動補助金	R2	決算	37,929	25,285			R2	決算			
			R3	予算	39,323	26,216			R3	予算			
			R2	決算					R2	決算			
			R3	予算					R3	予算			
			R2	決算					R2	決算			
			R3	予算					R3	予算			
			R2	決算					R2	決算			
R3	予算				R3	予算							

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	①	区 分	単位	令和元年度	令和2年度
		会員数	人	43,139	40,826
	②	上記①にかかる年間経費	千円	58,958	57,496
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,367	1,408
備考 (算出についての説明等)		老人クラブの会員数 (加入分と未加入分の合算した数) に係る事業経費から算出			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	定年の延長などの働き方の多様化により、比較的若手の高齢者の加入がほとんどないことに加えて、価値観の変化や地域の希薄化などにより、クラブへの新規入会者が減少傾向にある。また、加入者の高年齢化が進み、会長等の役員のなり手不足などから解散するクラブが増えており、令和元年度の高齢者クラブ会員数と比べ、令和2年度は1827人減少している。しかし、年間経費も減少しており、令和2年度は令和元年度と比べて費用対効果に大きな変化は見られない。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	老人福祉法により老人クラブ活動への支援について努力義務が課されており、高齢化が進む中で、高齢者の生きがいや健康づくりを促進する施策が必要である。また、老人クラブが行う社会奉仕活動は地域で重要な役割を担い、社会的にも老人クラブの存在の重要性は高く、高齢者の幅広い社会活動を促進して、市内の高齢者の自立を支援し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与している。